

編集 あいち民主県議団  
(県政レポート編集委員会)〒460-8501  
名古屋市中区三の丸三丁目1-2 愛知県庁内  
代表電話 052-961-2111 Fax. 052-961-3766  
HP: <https://shinsei-aichi-kengidan.com/>

発行 県議会議員 松本まもる 事務所

〒458-0824  
名古屋市緑区鳴海町有松裏7-19 (名鉄有松駅北すぐ)  
Tel. 052-825-4155 Fax. 052-825-4156

本レポートは、あいち民主県議団に交付されている政務活動費の広報費を充当して作製・配布しています。ご意見・ご要望をお寄せください。

# あいち民主

## 県議団県政レポート



### 「今回も力を合わせて」

あいち民主県議団  
建設委員会 副委員長 松本 まもる

皆様には於かれましては健やかに新年を迎えられたこととお慶びを申し上げます。

本年はあえて新年を祝うご挨拶は控えさせていただきます。ご理解賜れば幸いです。日頃は議員活動にご理解とご協力を賜りましてありがとうございます。

昨年は、コロナウイルス感染症も二類から五類に引き下げられ、長年続いたパンデミックもほぼ解消され対面での各行事や催し物が開催出来るようになりました。

しかしながら未だ油断は禁物であり、引き続きそれぞれにあった感染対策を講じて頂きますようお願い申し上げます。

本年こそ日常生活が戻る喜びを感じながら新年を迎えるはずでしたが、あろうことか新年早々それも一月一日元日の午後、石川県を中心に発生した「令和六年能登半島地震」におきましては、確認されただけで本年一月十五日現在二二二名の尊い命が奪われ、一、〇〇〇名を超える重軽傷者が発生し、未だに救出出来ない大勢の被災者がいらっしやる状況です。

救出を待たれるご家族の心情を察すれば心が痛みます。このような状況を目の当たりにした我々は、ただただこの惨状に眼を覆うばかりです。

自然災害の脅威に対し、改めて災害時の備えをしつかりと整え、何時も対応出来る心構えをしなければなりません。

今回この地震においてお亡くなりになりました方々のご冥福を心よりお祈りするとともに被害に遭われお怪我をされた方、お住まいに甚大な被害に見舞われた方々全てに改めてお見舞いを申し上げます。我々一人一人が他山の石とせず、新たな心構えを持

つべきと心新たにした新年のスタートでした。

また、元日の翌日には羽田空港において旅客機と海上保安庁所属の機体が接触し、双方の機体が炎上し海上保安庁所属機の乗務員五人が亡くなるというショッキングなニュースも飛び込んで来ました。この事故でお亡くなりになった隊員の皆さまのご冥福をお祈りし、お怪我された機長の一日も早い回復をお祈り致します。

あれだけの惨事にも関わらず幸い旅客機の乗員・乗務員三七九人全員が無事だったのは奇跡としか言いようがありません。これは「奇跡の十八分」と言われ日頃の客室乗務員の有事に対する繰り返し訓練と心構えの結果であり、旅客輸送の一端に関わっております。私も使命の重要さに改めて気付かされました。

また、九州の福岡では一月三日の午後発生した大規模火災により多くの家屋が消失し貴重な建造物や歴史を刻んだ建物が被害にあつてしまい、この火事において人災は最小限に留まりましたが街の復興にはかなりの時間を要するものと考えられます。

地震に続いて航空事故や大火を目の当たりにした激震の新年スタートでした。大変なスタートを切った日本列島でありましたが、被災地に向けての救援活動は災害義援金の募金活動も既に始まっており体制が整い次第、問い合わせの多いボランティア活動の受け入れや支援助物資の個人輸送も進んでいきます。

皆様におかれましては今しばらく現地への支援については受け入れ態勢等の準備が整うまでは、地域の募金活動など被災地に負担の掛からない中で、それぞれが出来ることを取り組んでいただき被災地の復興が一刻も早く進むようお願い添えをいただきたいと思っております。

我々はこれに臆することなく被災地域の復興に向け力を合わせて行きます。今こそ心を一つにし、智恵を絞ってこの難局に向かっています。

最後にこの一年皆さまの御健勝とご多幸と被災地の一日も早い復興をお祈りし新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。



## あいち民主県議団 代表質問から

(12月5日 本会議)



政策調査会長  
桜井 秀樹  
(豊田市 2期)

**質問 1**  
自動運転について、これまでの  
実証実験で培ったノウハウを  
どのように活用していくのか？

**知事** これまで、全国初となる5Gを活用した遠隔型自動運転を実施するなど、自動運転技術の向上に焦点を当てた実験をはじめ、公共交通との連携や車室空間のあり方といった自動運転車両の多様な活用方法の検討などについても取り組んできた。今後は、2024年10月のSTATION A i開業時には、STATION A iと名古屋駅とを自動運転で結び、往來の激しい都心での全国初となる定期運行の実現を目指す。また、これまでの取組で得られたノウハウをもとに、県内市町村等が独自に行う実証実験の計画策定や実施にあたり積極的に支援を行い、県内における自動運転の普及拡大にも努めていく。

**質問 2**  
カーボンニュートラルの実現に  
向けた中小企業支援について、  
どのように取り組んで  
いけるのか？

**知事** 今年度は、脱炭素経営に取り組み意欲が高い中小企業にアドバイザーを派遣し、CO<sub>2</sub>排出量の算定や削減目標の設定等の支援を開始したほか、普段から中小企業に寄り添う金融機関や名古屋商工会議所と連携して、環境省の新規事業である「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」の採択を受け、よりきめ細かい支援に取り組んでいる。さらに11月には、中小企業の支援体制を更に強化するため、本県が中心となって、金融機関や経済団体、国、市町など56機関による「あいち脱炭素経営支援プラットフォーム」を設立し、参画機関がしっかりと連携・協働しながら、地域ぐるみで中小企業の脱炭素経営に向けた取組を支援し、「カーボンニュートラルあいち」の実現を目指していく。

**質問 3**  
少子化の対応について、  
婚活イベントなど結婚支援の  
取組について？

**知事** 少子化の大きな要因の一つである未婚化・晩婚化への対策として、結婚を希望する方に出会いの機会を提供するため、10月7日に愛・地球博記念公園において定員400人の大規模婚活イベントを開催した。若者の関心は高く、出会いの機会の提供と結婚を希望する若者を社会全体で応援する機運の醸成という目的を果たすことができたと感じている。県としてイベントに参加した方へ1月に行う追跡アンケート調査の結果などを踏まえ、今後も大規模イベントを含めた本県の結婚支援の取組を強化し、結婚を希望する方に出会いの機会や場の提供ができるよう、しっかりと取り組んでいく。

**質問 4**  
教員の多忙解消に向け、施策と時間軸  
が一体となった「愛知県版教員の  
多忙化解消プラン・ロードマップ」を  
作成し取り組むべきでは？

**教育長** 今年度から、市町村の中学校10校をモデル校に指定して、

授業時間数の見直しや会議資料等のペーパーレス化などの業務改善を実践している。このモデル校における業務改善の成果をとりまとめ、県内全域に周知するとともに、取組成果の報告会をオンラインで実施し、県内すべての学校に参加を促している。また、国においては、2024年度からの3年間を、教員の働き方改革、処遇の改善、指導・運営体制の充実を一体的に進めていく集中改革期間としている。こうした国の動きや、モデル校における業務改善の成果などを取り入れ、この3年間で多忙化解消の道筋をつけるロードマップを、来年度の夏ごろまでに作成していく。

## ●その他の質問項目

- ・ 行財政改革の取組
- ・ 感染症対策
- ・ 休み方改革(ラーケーション)
- ・ アジア競技大会・アジアパラ競技大会
- ・ 革新事業創造戦略の推進について
- ・ ジブリパークを活用した周遊観光の促進について
- ・ 飲酒運転の撲滅に向けた対策について
- ・ 男女共同参画社会の実現に向けた男性の育児休業取得促進について



▲ 本会議の録画視聴はこちらから

愛知県議会ホームページ <https://www.pref.aichi.jp/gikai/>



あいち民主県議団 一般質問から

全国初の在住地・在勤地消防団員制度を提案



福田 よしお議員  
(日進市及び愛知郡 3期)  
消防団員の福

利厚生事業の充実と処遇改善として報酬、手当、交通費等を国基準を参考に市町村に指導助言を要請するとともに、全国初の在住地と在勤地で消防団員として活動できる制度の創設を提案し、県は在住・在勤の重複消防団員制度の有用性を

市町村防災担当課長会議などを通じて紹介し、県内消防団の充実強化対策に努めると答弁を得た。またWRCラリージャパン、ラリー

三河湾とともに愛知県国際展示場で開催される「学生フォーミュラ日本大会」を活用した地域振興やスペイン・ビルバオやサンセバスチャンをヒントに県の魅力的な地域づくりについて質し、前向きな答弁を得た。

介護分野等における外国人就職支援について



細井 真司議員  
(刈谷市 1期)  
日本、そして愛知県が、外国人から

ら介護分野の就業先として選ばれなくなる危機感から、昨年まで駐在した、外国人労働者獲得での最大のライバル・台湾における自らの経験や、国内他自治体の受入強化施策などを紹介した上で、本県の外国人就労支援の取り組みにつ

いて尋ねた。これに対して大村知事からは、学習支援経費への助成といった外国人材を受け入れる施設等への支援充実や、安心して働ける適正な労働環境や生活環境の整備を行うことで、介護分野等における外国人材の確保に取り組み、誰もが活躍できる社会の実現を目指す、との答弁を得た。

南米架け橋人材との連携強化と多文化共生



小木曾 史人議員  
(あま市及び海部郡 2期)  
8月下旬に実

施した南米調査結果を踏まえ、将来的な南米との関係強化を見据えた事業展開について質問。愛知県から南米に移住した方の子孫を対象にした留学制度について、資格要件の緩和を求め、県当局からは緩和を検討する旨の答弁を得た。

外国人県民への日本語教育支援について、担い手不足と習熟度別のきめ細かな教育の観点から、「人材育成プログラム」と「日本語能力判定ツール」の早期開発・展開・普及を求めました。

その他連携型中高一貫校設置予定の美和高校について、教職員の追加配置を強く求め、教育長からはしっかりと取り組んでいくとの前向きな答弁を得た。

在宅介護サービス事業者等の駐車場問題対策



むらしま 嘉将議員  
(中川区 1期)  
今後、超高齢化社会を迎えるこ

とが確実視される中、介護の訪問サービスを利用する方が年々増加してきています。しかし、介護事業者が利用者宅を訪れた時に車を停める場所がない、或いは駐車禁止場所が非常に煩雑であるという問題が

発生してきます。県営住宅においては、すでに設置が進んでいる介護者専用駐車場をもっと拡充できないか、警察署に対する路上駐車

の許可申請を簡素合理化できないか、許可期間を延長できないかを質問しました。その他、#7119 救急安心センター事業の進捗状況と費用対効果についてと県西部の鉄道網の充実について質問した。



## あいち民主県議団の活動を2点紹介します!

### 1 団研修会：議員の資質向上を目指し、定期的に研修を実施しています。

名古屋掖済会病院 北川喜己院長をお招きして『愛知県の防災・災害における患者搬送の現状と将来』について講演をいただきました。



#### 【講演要旨】

#### ① ダイヤモンド・プリンセス号対応の教訓 その後の新型コロナ対応体制へ

- 搬送調整機構とクラスター現場対応が必須  
都道府県本部での入院搬送調整  
DMATの病院・高齢者施設等支援
- 受入病院確保の困難  
受入病床確保の必要性、重点医療機関の指定
- 軽症大量患者受入施設の必要性  
宿泊療養
- PCR要員確保の必要性  
PCRセンターの設置と地元医師会の協力

#### ② 南海トラフ大地震での医療体制への対応

##### ★初動では

- 機能維持した病院は、溢れる重症患者を診る
- 近隣ならびに広域の医療搬送を実施する
- 籠城した病院は、病院避難とならないよう  
入院患者を診る(平時の備え)

##### ★数日後…には

- 物資をはじめ早期の排水・道路啓開等で、  
籠城した拠点病院を支援し機能回復を  
図りつつ患者を病院に運ぶ

#### ③ 医療搬送の重要性

医療搬送：医療の管理下における搬送

- 医療の継続が必要な傷病者の搬送は、医療搬送が必要
- 重症患者の搬送は被災地から被災地外病院まで間断無き医療の継続が必須  
※適切な医療サポートなしに搬送した場合には、多数の防ぎえた死亡を発生させてしまう

### 2 街頭活動

多くの県民のみなさんにあいち民主県議団の活動を知っていただくための街頭活動を議会閉会日を基本に名古屋栄周辺でおこなっています。

街頭活動では、代表質問及び一般質問に登壇された議員を中心に質問に対する想いを訴えさせていただき、他の団員は、政策パンフを配布して活動をアピールしています。

第1回：7月28日



第2回：10月26日

